

## 導入事例

# 日本アニメ・マンガ専門学校



## 「Cintiq Companion」の導入により PC常設教室以外でのデジタル授業が可能に 学生のデジタルスキルも向上



Cintiq Companion

日本アニメ・マンガ専門学校は2014年4月、株式会社ワコムのクリエイティブタブレット「Cintiq Companion」26台を導入。デジタル授業の教室による制約を取り除くとともに、業界のニーズに応えるデジタルスキルの向上に取り組んでいます。

### ☑ 導入前の課題

- デジタル化が進むアニメ・マンガ業界就職に向けたデジタルスキルの向上
- 板型ペンタブレットと液晶ペンタブレット両方のスキルアップ
- デジタル制作の授業の拡充

### ☑ 導入後の効果

- 紙とペンに近い感覚で初めて操作する人も慣れやすく、授業もスピードアップ
- PC常設教室以外でデジタル制作の授業が可能に
- 県外・海外でのデジタル体験授業が可能になり、入学志望者が増加

### 学生のデジタルスキルの向上と デジタル授業の拡充を推進

“社会に通用するプロのマンガ家・イラストレーター・アニメーターを育てる”をモットーとする日本アニメ・マンガ専門学校(以下、JAM)が、ワコムのWindows 8搭載クリエイティブタブレット「Cintiq Companion」を導入した大きな理由は、「業界に準拠した環境整備のさらなる推進」のためでした。JAMでは既に、数年前から板型ペンタブレットの「Intuos」シリーズを授業で使用し、学生のデジタルスキルの育成に積極的に取り組んできました。近年、学生の主な就職先であるマンガ・アニメ業界のデジタル化が進み、「とくにキャラクターデザイン分野においては、企業の制作環境はほぼ100%デジタル化しています。年々、液晶ペンタブレットが浸透しつつありますが、まだまだ板型ペンタブレットを使用している作家や企業も多い。両方のスキルを身につけることで、幅広く就職に役立てられる」という認識の上に、教務部内田昌幸部長をはじめとする講師陣は

「Cintiq Companion」の導入を決定しました。

豊富な機種がラインアップされている「Cintiq」シリーズの中でも「Cintiq Companion」を選択したのは理由があります。今回JAMが導入した「Cintiq Companion」は、液晶ペンタブレット同様に描画できるのはもちろん、モバイルPCでもあるため、PC設備のない教室でも授業を行うことが可能です。内田部長によると、「これまで何度か「Cintiq」シリーズの導入を検討してきましたが、今回Windows 8を搭載した「Cintiq Companion」が発売されたことにより、導入を決定しました。学生にとって「Cintiq Companion」の13.3インチというディスプレイサイズは感覚的に扱いやすく、持ち運びにも適しています。さらにOSを搭載しているのでPC設備がない教室でもデジタル授業を行えますし、本体がコンパクトなので収納場所にも困らない。様々な点で魅力を感じました」とのこと。学生のデジタルスキルの向上と共に、学校にとっても「Cintiq Companion」導入は大きなメリットをもたらすことが予想されました。

### キャラクターデザイン科の授業と コミックイラスト科の作品制作で使用

現在、「Cintiq Companion」を使って授業を行っているのはキャラクターデザイン科の全学生約90名とコミックイラスト科の約80名です。キャラクターデザイン科の1年生は、線画や着色などの基礎を学ぶテクニック系の授業で、2年生はイラストレーションの背景、炎や水などのエフェクト表現など、より高度なテクニックを身につける授業で「Cintiq Companion」を活用しています。コミックイラスト科では、学外コンテストへの提出作品をデジタルで制作したい学生などが随時「Cintiq Companion」を使用できるようにしており、他学科でも希望する学生には課外時間に貸し出しを行うなどの調整をしています。キャラクターデザイン科の八子智明講師は、「Cintiq Companion」を一般教室に持ち込み、講師の「Cintiq Companion」の画面をプロジェクターに投影して授業を行っており、「PC常設のラボ教室と変わらない環境が作れている」と言います。また、「Cintiq Companion」は移動可能な棚に収納して保管し、そのまま教室に運び込んで使えるため、学内設備の省スペース化にも貢献しています。

### 県外・海外でのデジタル体験授業で JAMの個性と特長をアピール

実際に授業を行うなかで、講師陣は「Cintiq Companion」導入による様々なメリットを感じています。例えば、1年生の多くはJAMで初めてペンタブレットに触りますが、「Cintiq Companion」は紙とペンに近い感覚でダイレクトに画面に描画できるため、ペンタブレットの操作に慣れやすく、例年以上にスムーズに授業を進

められています。また、インターンシップの一環として在学中にプロのクリエイターとして活躍する学生が、作品の送付やメールでの連絡を「Cintiq Companion」上で完結させられるのも利点です。セキュリティ対策に万全の注意を払いながら、ネットワーク機能を使いこなしています。講師が直接、画面上で添削ができることも授業のスピードアップに役立っています。「今後は「Cintiq Companion」を持ち出し、屋外でのデッサンや合宿授業なども実施したい」と八子先生は語ります。

学外にJAMの魅力のアピールする際にも「Cintiq Companion」は大いに活用されています。近隣の長野県、群馬県、秋田県、富山県など県外で開催する「出張オープンキャンパス」では、「Cintiq Companion」を持ち出して体験授業を行っています。JAMはまた、アジア圏を中心に海外留学生の受け入れも積極的に行っており、香港など海外都市での進学ガイダンスでも「Cintiq Companion」を使ったデジタル授業のプレゼンテーションや体験授業を開催しています。どの開催地でも参加者から好評を得ており、入学志望者増加への確かな手応えを感じています。内田部長は、今後も「グローバルな視野で“世界に通用するデジタルスキルを身につけられるJAM”を精力的にアピールする」と力を込めます。

「Cintiq Companion」の導入により、PC常設教室の制約を受けないデジタル授業が可能になり、モチベーションとデジタルスキルのさらなる向上を目指すJAM。今後も授業内容の充実とともに、デジタル化が進む業界のニーズに応えられるスキルを備えたクリエイターの育成が一層期待されます。

